

# 仕分け結果速報

事業名	はり・灸・マッサージ治療扶助事業		第1班			
			第9事業			
仕分けチームの結果						
評価結果			コーディネーター の評価結果	判定結果		
(1) 不要	①趣旨・目的に妥当性がなし	1人		(1)	不要	5人
	②達成手段としては不適當	4人				
	③効果がない(薄い)または逆効果	人				
	④サービス受給者の自助努力・自己負担が適當	人				
	⑤他事業と重複(事業の統合)	人				
	⑥その他	人				
(2) 民間	①行政の役割終了	人		(2)	民間	0人
	②サービス水準に違いがあるべき(あってよい)	人				
	③民間の方がより効果的・効率的にできる	人				
	④その他	人				
(3) 国、県、広域	①規模が全国的	人		(3)	国、県、広域	0人
	②全国一律のサービスであるべき	人				
	③規模が県域的	人				
	④県下一律のサービスであるべき	人				
	⑤規模が広域的	人				
	⑥広域一律のサービスであるべき	人				
	⑦影響が広範囲	人				
	⑧その他	人				
(4) 寒川町 (要改善)	①事業内容の見直し	人		(4)	寒川町 (要改善)	0人
	②事業規模の縮小	人				
	③自主財源確保の努力	人				
	④期限の設定	人				
	⑤事業の効率化	人				
	⑥委託	人				
	⑦市場化テスト	人				
	⑧その他	人				
(5) 寒川町 (現行どおり)	①拡充	人		(5)	寒川町 (現行どおり)	0人
	②現行どおり	人				

コメント	コーディネーター(伊藤)		目的に妥当性なし。
	【不要】①趣旨、目的に妥当性がなし	小栗	厳しい財政の中で、この補助は適當でない。
	②達成手段としては不適當	海東	在宅介護者には、別の形の支援を考えていただきたい。
		露木	高齢者の健康増進施策としては、もっと効果的な方法を取り入れるべき。
		石田	なぜ、支援対象が、「はり、灸、マッサージ」に限定されているのか疑問。高齢者の健康維持・増進を図るためには、このほかに、体操教室、ヨガ、プール、気功等多くあるはず。選択肢が少ない。利用率も7.67%(10.6%×72.4%)であり、公平性に欠け、必要ない。
	山蔦	在宅介護者へのマッサージ券は不要。確かに在宅介護は施設介護より町の負担は大きく減る。それならば、在宅介護者への支援はもっと大きくて良い。例えば、1泊ショートステイ券の発行等を考えては。	